



# すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 齋藤 瑞穂

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

平成30年 7月 2日 No. 491

## あの日ローマでながめた月が

副校長 船橋 伸弘

東京五輪音頭の歌いだしです。「杉七盆踊り」で踊るので、杉七小の子供たちや保護者の方たちにもお馴染みの曲だと思います。東京五輪音頭は今から54年前に開催された東京オリンピックの公式テーマソングです。作詞は宮田隆さん、作曲は古賀政男さんです。

作詞は一般公募で、当時島根県庁職員だった宮田さんの作品に決まりました。戦時中、激戦地に赴いた宮田さんの「戦争がなく、平和でさえあれば」の思いが3番の歌詞に込められています。「すがた形は違っていてもいざれ劣らぬ若い花」「オリンピックの庭に咲く」の詩が心に残ります。

当時はCDではなく、レコードの時代でした。作曲家はレコード会社専属でしたが、この曲に限っては録音権を各社に開放しましたので、様々な歌手の競作となりました。三橋美智也さん、橋幸夫さん、坂本九さん、北島三郎さん等が歌い、300万枚以上のヒットとなりました。最も売れたのは三波春夫さんで、130万枚以上の売り上げを記録しました。

三波春夫さんも、戦争に行き、シベリアで捕虜となった経験があります。五輪当時、「戦後の復興した日本の姿を世界の人たちに見てもらいたい、何としても東京五輪を成功させたい」という気持ちで世界に向けて歌った

と語っています。焼野原からの戦後復興、国際社会への復帰を日本が世界にアピールする東京オリンピックだったのです。

昨年の7月24日にリリースされたリメイク版の「東京五輪音頭・2020・」は、昨年の「杉七盆踊り」には間に合いませんでしたので、今年がお披露目となります。歌詞がオリジナルとは変わっているので、比べてみると面白いです。オリジナルにはない5番まであります。

オリジナルの東京五輪音頭から53年の時が流れて、日本も世界も驚くほど変わりました。残念ながら、今でも紛争が絶えない世界です。だからこそ、「すがた形は違っていても」認め合い、競い合い、五輪の舞台で「花を咲かせる」平和の祭典であってほしいと思います。2年後の夏が楽しみです。

今年の「杉七盆踊り」は、7月14日（土）15日（日）です。沢山の方のご来場をお待ちしております。杉七の平和の祭典です。

「杉七盆おどり」が終わるとすぐに夏休みです。健康に気をつけてお過ごしください。規則正しい生活を送り、夏休みにしかできない体験ができたらと思います。

先日、「教員の働き方改革」の推進に伴う取組みの実施についてご案内しました。ご協力をお願いいたします。

①7月1日より、留守番電話の運用が始まります。午後6時半から翌日午前7時半まで応答メッセージが流れます。ご了承ください。お休みの連絡等は連絡帳でお願いします。

②8月13日～15日は「学校閉学日」です。教員は勤務いたしません。緊急な要件以外はこの日程を避けてご連絡、ご来校ください。緊急時の連絡先は、済美教育センターSAT（3311-0023）です。